

厚生病院のトピックス

2013/10/31
厚生病院

1 黒字決算

(百万円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
医業収益	4, 501	5, 132	5, 731	6, 063	6, 083
医業費用	5, 300	5, 714	6, 013	6, 384	6, 240
医業損益	△799	△582	△282	△321	△153
経常損益	△507	△114	32	79	260
純損益	△547	△299	101	68	254

- ・ 3年連続の黒字決算
- ・ 医業収益、最終利益ともに過去最高をマーク
- ・ 患者数が前年より減少したもののDPC機能評価係数の高評価及び総合入院体制加算等の新規算定並びに改築工事に伴い整備した電子カルテ等の減価償却完了を主な要因として、増収、増益となったもの

	22年度	23年度	24年度
1日あたり入院患者数	254人	267人	257人
1日あたり外来患者数	538人	562人	556人
入院診療単価	44,473円	44,348円	46,139円
外来診療単価	11,442円	11,473円	11,680円

2 診療機能等の最近の動き

- ・ 小児科医師1名の増員（5名体制へ（H25.8～））
- ・ 乳腺専門医1名の確保（H24.10～）
- ・ 呼吸器内科医師1名の増員（3名体制へ（H25.4～））
- ・ 常勤病理医（院長）確保により、バーチャルシステムに頼らない術中迅速診断に対応（H25.4～）
- ・ 初期臨床研修後に引き続いての後期臨床研修生（専攻医）2名確保（外科）
- ・ 泌尿器科医師の欠員（H24.11～）
- ・ 腎臓内科医師の欠員（H25.8～）

3 診療機能の強化

(1) 放射線治療装置の更新

従来よりより深部の臓器にも対応可能な放射線治療装置に更新し、本年4月から運用を開始。

本装置は、中部で厚生病院のみであることから、広く適応となる患者に利用いただくため、放射線科医を中心としたスタッフが中部地域の病院にPR活動を実施（これに伴い新規利用者が増加）

(2) 総合医療情報システムの更新

H19に稼働開始した総合医療情報システムの老朽化に伴い、今年度内の稼働に向け、更新作業に着手（先般導入事業者を選定）

4 創立50周年記念事業の実施

当院の前身である鳥取県中部厚生農協連厚生病院から県に移管され、本年度で50周年となることを記念し、下記の事業を実施する。

(1) 記念式典の開催

11月23日（土） 於：新日本海新聞社中部本社ホール

(2) 記念誌の刊行

年内発刊に向け、現在編集作業中